



カード認証

管理者ガイド

目次

概要.....	4
前提条件をセットアップする.....	5
内蔵 Web サーバーにアクセスする.....	5
内部ユーザーアカウントを追加する.....	5
内部ユーザーアカウントのグループを設定する.....	5
セキュリティテンプレートを作成する.....	6
アクセス制御を設定する.....	6
アプリケーションを設定する.....	8
アプリケーションの構成設定ページにアクセスする.....	8
管理者認証を設定する.....	8
ログイン画面を設定する.....	8
プリンタベースの認証.....	9
Web サービスの認証.....	10
ID サービスの認証.....	11
PIN 認証.....	13
LDAP 認証.....	13
アプリケーションの設定.....	14
ユーザーアカウントのレルムを表示する.....	15
構成ファイルをエクスポートまたはインポートする.....	15
アプリケーションを管理する.....	16
アプリケーションの状態ページにアクセスする.....	16
ユーザーアカウントとクライアントプリンタを管理する.....	16
プリンタロールを再び割り当てる.....	17
アプリケーションを使用する.....	18
ユーザーを登録する.....	18
PIN を登録する.....	18
プリンタに手動でログインする.....	18
問題に対処する.....	19

よくある質問(FAQ).....	22
通知.....	24
索引.....	25

概要

アプリケーションを使用してカードリーダーを使用するプリンタへのアクセスを保護します。ユーザーがタップすると、以下のいずれかを使用してそのユーザーの資格情報が認証されます。

- マスタープリンタ。マスタープリンタがオフラインの場合、マスタープリンタがオンラインになるまで、バックアッププリンタがマスタープリンタとして機能します。

メモ: プリンタを設定するとき、プリンタ同士が同じネットワークで接続されていることを確認します。

- Lightweight Directory Access Protocol (LDAP)、Lexmark™ Document Distributor (LDD) サーバー、または ID サービスプロバイダ (組織で設定された認証によって異なります)。

本書では、アプリケーションの設定、使用、トラブルシューティングを行う方法を説明します。

前提条件をセットアップする

アプリケーションを設定するには、管理者権限が必要になることがあります。

内蔵 Web サーバーにアクセスする

- 1 プリンタの IP アドレスを以下の部分で確認します。次のいずれかを実行します。
 - プリンタのホーム画面で IP アドレスを確認します。
 - [ネットワーク/ポート]メニューの[TCP/IP]セクションで IP アドレスを確認します。
- 2 Web ブラウザを開き、プリンタの IP アドレスを入力します。

内部ユーザーアカウントを追加する

プリンタベースの認証を使用する場合、内部ユーザーアカウントが必要です。

- 1 内蔵 Web サーバーで、[設定]または[構成設定]をクリックします。
- 2 プリンタ機種に応じて、以下のいずれかを実行します。
 - [セキュリティ] > [セキュリティ設定] > [内部アカウント] > [内部アカウントを追加]をクリックします。
 - [セキュリティ] > [セキュリティ設定の編集] > [内部アカウント] > [内部アカウントを追加]をクリックします。
- 3 アカウント情報を入力し、[送信]をクリックします。
- 4 必要な場合、[内部アカウントを管理]セクションにカスタムのビルディングブロック名を入力し、必要なユーザー資格情報を指定します。
- 5 [送信]をクリックします。

内部ユーザーアカウントのグループを設定する

- 1 EWS で、[設定]または[構成設定]をクリックします。
- 2 プリンタ機種に応じて、以下のいずれかを実行します。
 - [セキュリティ] > [セキュリティセットアップ] > [内部アカウント] > [内部アカウントで使用するグループの設定]をクリックします。
 - [セキュリティ] > [セキュリティセットアップの編集] > [内部アカウント] > [内部アカウントで使用するグループの設定]をクリックします。
- 3 グループ名を入力して、[追加]をクリックします。
- 4 グループに内部アカウントを追加します。
- 5 [送信]をクリックします。

セキュリティテンプレートを作成する

セキュリティテンプレートは、内部アカウント、Kerberos、LDAP、LDAP+GSSAPI、Active Directory など、セキュリティビルディングブロックで構成されています。これらのテンプレートは、プリンタの機能とアプリケーションをセキュリティで保護するためにアクセス制御に適用されます。

- 1 EWS で、[設定]または[構成設定]をクリックします。
- 2 プリンタ機種に応じて、以下のいずれかを実行します。
 - [セキュリティ] > [セキュリティ設定] > [セキュリティテンプレート] > [セキュリティテンプレートを追加]の順にクリックします。
 - [セキュリティ] > [セキュリティ設定の編集] > [セキュリティテンプレート] > [セキュリティテンプレートを追加]の順にクリックします。
- 3 セキュリティテンプレート名を入力し、以下の認証設定のいずれかを選択します。
 - 単独の設定でプリンタベースの認証を使用する場合、内部アカウントビルディングブロックを選択します。
 - Active Directory の設定で、Lexmark Print Management (LPM) サーバーレスプリントリリースにプリンタベースの認証を使用する場合、LDAP+GSSAPI ビルディングブロックを選択します。
 - LDAP 認証の場合は、LDAP ビルディングブロックを選択します。
- 4 [テンプレートの保存]をクリックします。

メモ: 既存のセキュリティテンプレートを変更するには、セキュリティテンプレートをクリックし、テンプレートの認証を追加または変更します。

アクセス制御を設定する

メモ: 管理者ログイン機能を使用する場合は、内部アカウントのセキュリティテンプレートが設定されていることを確認します。詳細については、[「セキュリティテンプレートを作成する」](#)、6 ページ を参照してください。

- 1 EWS で、[設定]または[構成設定]をクリックします。
- 2 プリンタ機種に応じて、以下のいずれかを実行します。
 - [セキュリティ] > [セキュリティ設定] > [アクセス制御]をクリックします。
 - [セキュリティ] > [セキュリティ設定の編集] > [アクセス制御]をクリックします。
- 3 [デバイスアプリ]または[デバイスソリューション]をクリックし、以下の手順に従います。
 - アプリ 1 またはソリューション 1 を内部アカウントに設定するか、LDAP+GSSAPI または Active Directory セキュリティテンプレートに設定します。
 - アプリ 2 またはソリューション 2 をアプリケーションセキュリティテンプレートに設定します。

メモ: アプリケーションセキュリティテンプレートは、認証設定として CardAuth を選択したテンプレートです。詳細については、[「セキュリティテンプレートを作成する」](#)、6 ページ を参照してください。

 - アプリ 3 またはソリューション 3 を LDAP セキュリティテンプレートに設定します。

メモ:

- LPM プリントリリースがインストールされている場合、プリントリリースのアクセス制御をアプリケーションセキュリティテンプレートに設定します。

- アクセス制御を設定する場合、組込みソリューションフレームワーク(eSF)バージョン 2.x プリンタには、eSF セキュリティマネージャアプリケーションが必要です。これらのプリンタのリストについては、Readme ファイルを参照してください。

4 [送信]をクリックします。

アプリケーションを設定する

開始する前に、以下の手順に従います。

- 背景と待ち受け画面、および既存の認証アプリケーションを無効にします。
- 以下をインストールします。
 - カード認証のインストーラ
 - カードリーダードライバ
 - カードリーダー
 - eSF セキュリティマネージャ

メモ: アクセス制御を設定する場合、eSF バージョン 2.x プリンタには、eSF セキュリティマネージャアプリケーションが必要です。これらのプリンタのリストについては、Readme ファイルを参照してください。

アプリケーションの構成設定ページにアクセスする

- 1 内蔵 Web サーバーで、[設定]または[構成設定]をクリックします。
- 2 プリンタ機種に応じて、次のいずれかを実行します。
 - [アプリ] > [アプリ管理]の順にクリックします。
 - [デバイスソリューション] > [ソリューション(eSF)]の順にクリックします。
 - [内蔵ソリューション]をクリックします。
- 3 [カード認証] > [設定]をクリックします。

管理者認証を設定する

メモ: 管理者ログイン機能を使用する場合は、内部アカウント、PIN、パスワードのセキュリティテンプレートが設定されていることを確認します。詳細については、[「セキュリティテンプレートを作成する」、6 ページ](#) を参照してください。

- 1 EWS からアプリケーションの設定ページにアクセスします。
- 2 [ユーザー認証]セクションから、[管理者ログインのアクセス制御]を適切なログイン方式に設定します。

メモ:

- 選択したアクセス制御がセキュリティテンプレートで設定されていることを確認します。詳細については、[「セキュリティテンプレートを作成する」、6 ページ](#) を参照してください。
- [無効]を選択すると、プリンタパネルで[管理者ログイン]オプションが非表示になります。

- 3 [適用]をクリックします。

ログイン画面を設定する

ログイン画面は、以下の手順に従って設定できます。

- ユーザーがログインしないでコピーおよび FAX 機能を使用できるようにします。
- ユーザーが使用するログイン方式を選択できるようにします。

- ログイン画面の背景を追加し、ログインメッセージをカスタマイズします。
- カードリーダーが接続されていない場合の警告を無効にします。

1 EWS からアプリケーションの設定ページにアクセスします。

2 [ログイン画面]セクションで設定を構成します。

メモ: 各設定の詳細については、マウスカーソルを合わせると表示されるヘルプを参照してください。

3 [適用]をクリックします。

ログインなしのコピーまたは FAX 機能を有効にする

[ログインなしのコピーを許可]または[ログインなしの FAX を許可]が有効になっている場合、以下の手順に従います。

1 EWS で、[設定]または[構成設定]をクリックします。

2 プリンタ機種に応じて、以下のいずれかを実行します。

- [セキュリティ] > [セキュリティ設定] > [アクセス制御] > [機能アクセス]をクリックします。
- [セキュリティ] > [セキュリティ設定の編集] > [アクセス制御]をクリックします。

3 コピーまたは FAX 機能を[セキュリティなし]に設定します。

4 [送信]をクリックします。

プリンタベースの認証

マスタープリンタを通じてユーザーを検証する場合、プリンタベースの認証を使用します。

プリンタベースのユーザー認証を設定する

開始する前に、次の点を確認してください。

- アプリケーション 1 またはソリューション 1 のアクセス制御は、内部アカウント、LDAP+GSSAPI、または Active Directory のセキュリティテンプレートに設定されます。
- アプリケーション 2 またはソリューション 2 のアクセス制御をアプリケーションセキュリティテンプレートに設定します。

メモ: 詳細については、[「アクセス制御を設定する」、6 ページ](#) を参照してください。

1 内蔵 Web サーバーからアプリケーションの設定ページにアクセスします。

2 [ログイン画面]セクションで、ログイン方式を[カードまたは手動ログイン]に設定します。

3 [ユーザー認証]セクションで、以下の手順に従います。

- カード検証を[プリンタベース]に設定します。
- カード登録のアクセス制御を[アプリケーション 1]または[ソリューション 1]に設定します。
- 手動ログインのアクセス制御を[アプリケーション 1]または[ソリューション 1]に設定します。
- セッションのアクセス制御を[アプリケーション 2]または[ソリューション 2]に設定します。

メモ:

- カード登録のアクセス制御が[なし]に設定されている場合、プリンタにカードを登録できません。

- 手動ログインのアクセス制御を[なし]に設定しており、ログイン方式が[カードまたは手動ログイン]に設定されている場合、ログインにはカードのみが必要になります。
- 各設定の詳細については、マウスカーソルを合わせると表示されるヘルプを参照してください。

4 [適用]をクリックします。

プリンタのロールを設定する

メモ: クライアントプリンタには、マスタープリンタとバックアッププリンタが必要です。

- 1 内蔵 Web サーバーからアプリケーションの設定ページにアクセスします。
- 2 [プリンタベースのカード検証]セクションで、プリンタのロールを選択します。
 - **マスター:** プリンタで登録ユーザーのリストが保持されます。
 - **バックアップ:** マスタープリンタがオフラインの場合、マスタープリンタがオンラインになるまで、バックアッププリンタがマスターのロールを引き継ぎます。
 - **クライアント:** プリンタには、ユーザー情報が保管されません。ユーザーの資格情報を検証するには、マスターまたはバックアッププリンタが必要です。

メモ:

- 1 台のプリンタがある場合は、マスタープリンタに設定します。
- 2 台のプリンタがある場合は、1 台をマスタープリンタに設定し、他の 1 台をバックアッププリンタに設定します。
- 3 台以上のプリンタがある場合は、1 台をマスタープリンタに設定して 1 台をバックアッププリンタに設定し、残りをクライアントプリンタに設定します。

- 3 マスタープリンタとバックアッププリンタのホスト名または IP アドレスを入力します。

メモ:

- バックアッププリンタをセットアップするときには、マスタープリンタのホスト名または IP アドレスが必要です。
- クライアントプリンタを設定するときには、マスタープリンタとバックアッププリンタのホスト名または IP アドレスが必要です。
- クライアントプリンタを新しいマスタープリンタに割り当てる前に、古いマスタープリンタからクライアントプリンタを削除してください。

- 4 [適用]をクリックします。

Web サービスの認証

LDD サーバーを通じてユーザーを検証する場合、Web サービスの認証を使用します。

Web サービスのユーザー認証を設定する

始める前に、アプリケーション 2 またはソリューション 2 のアクセス制御がアプリケーションセキュリティテンプレートに設定されていることを確認します。詳細については、[「アクセス制御を設定する」、6 ページ](#) を参照してください。

- 1 EWS からアプリケーションの設定ページにアクセスします。
- 2 [ログイン画面]セクションで、ログイン方式を[カードまたは手動ログイン]に設定します。

3 [ユーザー認証]セクションで、以下の手順に従います。

- カード検証を[Web サービス]に設定します。
- カード登録のアクセス制御と手動ログインのアクセス制御を適切なアクセス制御に設定します。
- セッションのアクセス制御を[アプリケーション 2]または[ソリューション 2]に設定します。

メモ:

- カード登録のアクセス制御が[なし]に設定されている場合、プリンタにカードを登録できません。
- 手動ログインのアクセス制御を[なし]に設定しており、ログイン方式が[カードまたは手動ログイン]に設定されている場合、ログインにはカードのみが必要になります。
- 各設定の詳細については、マウスカーソルを合わせると表示されるヘルプを参照してください。

4 [証明書の検証]を選択して、サーバーへのすべての接続を検証します。[証明書の検証]が選択されていない場合、CA は検証されません。

メモ: 証明書の検証設定は、ID サービスと Web サービスの検証にのみ適用されます。

5 [検証モード]メニューで[チェーン]または[ピア]を選択します。

メモ: 初期設定値は[チェーン]です。

6 サーバーに安全に接続するには、サーバーの SSL 証明書をアップロードします。

7 [チェックホスト]フィールドに、追加のホスト名(デフォルトのサーバ URL 以外)を入力して、証明書のエントリを確認します。複数のホスト名を区切るには、カンマを使用します。

メモ: デフォルトでは、このホワイトリストにはサーバー URL のみが含まれています。[チェックホスト]フィールドに追加のホスト名を入力して、ホワイトリストに追加します。

8 [適用]をクリックします。

Web サービスの設定を構成する

1 内蔵 Web サーバーからアプリケーションの設定ページにアクセスします。

2 [Web サービスの設定]セクションで設定を構成します。

メモ: 各設定の詳細については、マウスカーソルを合わせると表示されるヘルプを参照してください。

3 [適用]をクリックします。

ID サービスの認証

LPM Software as a Service (SaaS) サーバーなどの ID サービスサーバーを通じてユーザーを検証する場合、ID サービスの認証を使用します。

ID サービスのユーザー認証を設定する

始める前に、アプリケーション 2 またはソリューション 2 のアクセス制御がアプリケーションセキュリティテンプレートに設定されていることを確認します。詳細については、[「アクセス制御を設定する」](#)、6 ページ を参照してください。

1 EWS からアプリケーションの設定ページにアクセスします。

2 [ログイン画面]セクションで、ログイン方式を[カードまたは手動ログイン]に設定します。

3 [ユーザー認証]セクションで、以下の手順に従います。

- カード検証を[**ID サービス**]に設定します。
- [カード登録のアクセス制御]を[**ID サービス**]に設定します。
- 手動ログインのアクセス制御を[**ID サービス**]に設定します。
- セッションのアクセス制御を[**アプリケーション 2**]または[**ソリューション 2**]に設定します。

メモ:

- カード登録のアクセス制御が[**なし**]に設定されている場合、プリンタにカードを登録できません。
- 手動ログインのアクセス制御を[**なし**]に設定しており、ログイン方式が[**カードまたは手動ログイン**]に設定されている場合、ログインにはカードのみが必要になります。
- 各設定の詳細については、マウスカーソルを合わせると表示されるヘルプを参照してください。

4 [証明書の検証]を選択して、サーバーへのすべての接続を検証します。[証明書の検証]が選択されていない場合、CA は検証されません。

メモ: 証明書の検証設定は、ID サービスと Web サービスの検証にのみ適用されます。

5 [検証モード]メニューで[**チェーン**]または[**ピア**]を選択します。

メモ: 初期設定値は[**チェーン**]です。

6 サーバーに安全に接続するには、サーバーの SSL 証明書をアップロードします。

7 [チェックホスト]フィールドに、追加のホスト名(デフォルトのサーバ URL 以外)を入力して、証明書のエンTRIESを確認します。複数のホスト名を区切るには、カンマを使用します。

メモ: デフォルトでは、このホワイトリストにはサーバー URL のみが含まれています。[チェックホスト]フィールドに追加のホスト名を入力して、ホワイトリストに追加します。

8 [適用]をクリックします。

ID サービスの設定を構成する

1 内蔵 Web サーバーからアプリケーションの設定ページにアクセスします。

2 必要に応じて[ID サービスの設定]セクションで[**待ち受け画面を有効化**]を選択します。

メモ: [待ち受け画面を有効化]が無効になっている場合、eSF バージョン 2.x プリンタには eSF セキュリティマネージャアプリケーションが必要です(これらのプリンタのリストについては、⇒ [Readme ファイル](#))。

3 ID サービスプロバイダのホスト名または IP アドレスを入力します。

4 必要に応じて、バジサービスプロバイダのホスト名または IP アドレスを入力します。

5 サーバーに安全に接続するには、サーバーの SSL 証明書をアップロードします。

6 ID サービスプロバイダからクライアント ID とクライアントの秘密を受け取っている場合は、対応するフィールドにその情報を入力します。

7 アプリケーションアクセスポリシーを設定します。

- **続行**: ID サービスサーバーへの接続に失敗した場合でも、プリンタの使用を続行します。
- **失敗**: ID サービスサーバーへの接続に失敗した場合は、ログイン画面に戻ります。

8 別のサービスアカウントを使用してプリンタにログインすることをユーザーに許可する場合は、[**サービスアカウントを使用**]を選択し、サービスアカウントの資格情報を入力します。

9 [適用]をクリックします。

PIN 認証

PIN ユーザー認証を設定する

始める前に、アプリケーション 2 またはソリューション 2 のアクセス制御がアプリケーションセキュリティテンプレートに設定されていることを確認します。詳細については、[「アクセス制御を設定する」、6 ページ](#) を参照してください。

- 1 内蔵 Web サーバーからアプリケーションの設定ページにアクセスします。
- 2 [ログイン画面]セクションで、ログイン方式を PIN 認証をサポートするオプションに設定します。
- 3 [ユーザー認証]セクションで、以下の手順に従います。
 - カード検証を適切な認証方式に設定します。
 - カード登録のアクセス制御を適切なアクセス制御に設定します。
 - PIN アクセス制御を[アプリケーション 1]または[ソリューション 1]に設定します。
 - 手動ログインのアクセス制御を適切なアクセス制御に設定します。
 - セッションのアクセス制御を[アプリケーション 2]または[ソリューション 2]に設定します。

メモ:

- PIN アクセス制御が[なし]に設定されている場合、プリンタに PIN を登録できません。
- 各設定の詳細については、マウスカーソルを合わせると表示されるヘルプを参照してください。

- 4 [適用]をクリックします。

PIN を設定する

- 1 EWS からアプリケーションの設定ページにアクセスします。
- 2 [PIN の設定]セクションの[必須の資格情報]メニューでログイン方式を選択します。
 - [ユーザー ID と PIN]–認証にユーザー名と PIN が必要です。
 - [PIN のみ]–認証に PIN が必要です。
- 3 Web サーバーアドレスを入力して PIN の最小長を選択します。
- 4 無効な PIN エラーメッセージを入力します。
- 5 [適用]をクリックします。

LDAP 認証

LDAP サーバーを通じてユーザーを検証する場合、LDAP 認証を使用します。

LDAP ユーザー認証を設定する

開始する前に、次の点を確認してください。

- アプリケーション 2 またはソリューション 2 のアクセス制御をアプリケーションセキュリティテンプレートに設定します。
- アプリケーション 3 またはソリューション 3 のアクセス制御を LDAP セキュリティテンプレートに設定します。

メモ: 詳細については、[「アクセス制御を設定する」、6 ページ](#) を参照してください。

- 1 内蔵 Web サーバーからアプリケーションの設定ページにアクセスします。
- 2 [ログイン画面]セクションで、ログイン方式を[カードまたは手動ログイン]に設定します。
- 3 [ユーザー認証]セクションで、以下の手順に従います。
 - カード検証を[LDAP]に設定します。
 - カード登録のアクセス制御を[アプリケーション 3]または[ソリューション 3]に設定します。
 - 手動ログインのアクセス制御を[アプリケーション 3]または[ソリューション 3]に設定します。
 - セッションのアクセス制御を[アプリケーション 2]または[ソリューション 2]に設定します。

メモ:

- カード登録のアクセス制御が[なし]に設定されている場合、プリンタにカードを登録できません。
- 手動ログインのアクセス制御を[なし]に設定しており、ログイン方式が[カードまたは手動ログイン]に設定されている場合、ログインにはカードのみが必要になります。
- 各設定の詳細については、マウスカーソルを合わせると表示されるヘルプを参照してください。

- 4 [適用]をクリックします。

LDAP 設定を構成する

- 1 内蔵 Web サーバーからアプリケーションの設定ページにアクセスします。
- 2 [LDAP の設定]セクションで設定を構成します。

メモ:

- [アドレス帳を使用]が選択されている場合、アプリケーションはプリンタネットワークアカウントですでに設定されている LDAP 設定を使用します。
- 各設定の詳細については、マウスカーソルを合わせると表示されるヘルプを参照してください。

- 3 [適用]をクリックします。

アプリケーションの設定

- 1 内蔵 Web サーバーからアプリケーションの設定ページにアクセスします。
- 2 次の手順を 1 つ以上実行します。
 - プリンタのホーム画面をカスタマイズするには、ホーム画面の設定を構成します。
 - 登録メッセージを表示するには、[詳細設定]セクションで[登録説明メッセージを表示]と[登録完了メッセージを表示]を選択します。
 - 正常にログインしたときにピープ音をならすには、[詳細設定]セクションで[ログイン成功時にピープ音をならす]を選択し、次にピープ音の周波数を調整します。
 - 正常にログインしたときにプロファイルを使用するには、[詳細設定]セクションの[ログインプロファイル]フィールドにプロファイル名を入力します。

メモ: 各設定の詳細については、マウスカーソルを合わせると表示されるヘルプを参照してください。

- 3 [適用]をクリックします。

使用可能なプロファイルを表示する

- 1 内蔵 Web サーバーで、[設定]または[構成設定]をクリックします。
- 2 [ショートカットの管理] > [プロファイルショートカット管理]をクリックします。

ユーザーアカウントのレルムを表示する

[選択済みレルムの使用]機能は、カード登録のログイン方式と手動ログインが Kerberos、Active Directory、または LDAP+GSSAPI である場合のみ使用できます。またこの機能は、カード検証が Web サービスまたはプリンタベースに設定されている場合のみ使用できます。

カード登録に対してこの機能が有効になっている場合、登録されるバジ ID は username@realm の形式になります。

手動ログインに対してこの機能が有効になっている場合、プリンタ操作パネルに表示されるユーザー名は username@realm の形式になります。

これらの設定は、PIN ログインおよび PIN 登録には適用されません。

この機能を有効にするには、以下の手順に従います。

- 1 内蔵 Web サーバーからアプリケーションの設定ページにアクセスします。
- 2 [詳細設定]セクションで[選択済みレルムの使用]を選択します。
- 3 [適用]をクリックします。

構成ファイルをエクスポートまたはインポートする

- 1 内蔵 Web サーバーからアプリケーションの設定ページにアクセスします。
- 2 構成ファイルをエクスポートまたはインポートします。

メモ:

- JVM メモリ不足エラーが発生した場合は、構成ファイルが保存されるまで、エクスポートの手順を繰り返します。
- 時間切れになって空白画面が表示されたら、Web ブラウザで表示を更新し、[適用]をクリックします。

アプリケーションを管理する

メモ: プリンタベースの認証を使用する場合のみ、アプリケーションの状態ページを使用できます。

アプリケーションの状態ページにアクセスする

状態ページを使用して、プリンタのアクティビティを監視します。

1 内蔵 Web サーバーで、[アプリケーション] > [カード認証]の順にクリックします。

2 以下の情報に注意してください。

- **状態:** プリンタのアクティビティの状態を表示します。
 - **未設定:** プリンタが設定されていません。
 - **オフライン:** プリンタのアクティビティも通信も実行されていません。
 - **オンライン:** プリンタはアクティブです。
- **アップタイム:** アプリケーションが実行されている時間を示します。
- **(このプリンタ):** 現在のプリンタ。
- **最終アクティビティ:** マスタープリンタの最終アクティビティ。
- **ユーザー数:** 登録ユーザー数の合計。
- **登録状態:** プリンタがオフラインかオンラインかを示します。
- **マスターとの最終同期:** バックアッププリンタの内容がマスタープリンタの内容で最後に更新された時刻。
- **マスターとの最終接続:** バックアッププリンタがマスタープリンタと最後に通信した時刻。
- **マスターとしての最終同期:** バックアッププリンタがマスタープリンタとして最後に動作した時刻。
- **マスターとしての最終アクティビティ:** マスタープリンタとして動作したバックアッププリンタの最終アクティビティ。
- **マスターとしての期間:** バックアッププリンタがマスタープリンタとして動作した期間を示します。
- **現在の稼働状況:** マスタープリンタまたはバックアッププリンタと最近通信したクライアントプリンタ。
- **バックアップとの最終アクティビティ:** クライアントプリンタがバックアッププリンタと通信した最終時刻。

ユーザーアカウントとクライアントプリンタを管理する

メモ: この機能は、プリンタがマスタープリンタとして動作している場合にのみ表示されます。

1 内蔵 Web サーバーからアプリケーションの状態ページにアクセスします。

2 以下のいずれかの手順を実行します。

ユーザーアカウントを削除する

- a [マスター]セクションで、[ユーザーを削除]をクリックします。
- b 1つ以上のユーザー ID を入力して、次にこれを削除します。

クライアントプリンタを追加する

- a [クライアント]セクションで、[クライアントを追加]をクリックします。
- b 1つ以上のプリンタ IP アドレスを入力して、次にこれを追加します。

クライアントプリンタを削除する

メモ: マスタープリンタがオフラインである場合、またはアプリケーションがアンインストールされている場合、クライアントプリンタを削除できません。

- a [クライアント]セクションで 1 つまたは複数のクライアントプリンタを選択します。
- b [クライアントを削除]をクリックします。

プリンタロールを再び割り当てる

- 1 新しいマスタープリンタを設定します。
 - a 新しいマスタープリンタの内蔵 Web サーバーから、アプリケーションの設定ページにアクセスします。
 - b [プリンタベースのカード検証]セクションで、ロールを[マスター]に設定します。
 - c バックアッププリンタのホスト名または IP アドレスを入力します。
 - d [適用]をクリックします。
- 2 バックアッププリンタを新しいマスタープリンタに割り当てます。
 - a バックアッププリンタの内蔵 Web サーバーから、アプリケーションの設定ページにアクセスします。
 - b [プリンタベースのカード検証]セクションで、新しいマスタープリンタのホスト名または IP アドレスを入力します。
 - c [適用]をクリックします。
- 3 現在のマスタープリンタからクライアントプリンタを削除します。
 - a 現在のマスタープリンタの内蔵 Web サーバーから、アプリケーションの状態ページにアクセスします。
 - b [クライアント]セクションでクライアントプリンタを削除します。
- 4 クライアントプリンタを新しいマスタープリンタに再び割り当てます。次のいずれかを実行します。

アプリケーションの設定ページを使用する

- a クライアントプリンタの内蔵 Web サーバーから、アプリケーションの設定ページにアクセスします。
- b [プリンタベースのカード検証]セクションで、ロールを[クライアント]に設定します。
- c 新しいマスタープリンタのホスト名または IP アドレスを入力します。

メモ: バックアッププリンタのホスト名または IP アドレスが正しいことを確認します。
- d [適用]をクリックします。

マスタープリンタの状態ページを使用する

- a 新しいマスタープリンタの内蔵 Web サーバーから、アプリケーションの状態ページにアクセスします。
- b [クライアント]セクションで、[クライアントを追加]をクリックします。
- c クライアントプリンタの IP アドレスを入力し、クライアントプリンタを追加します。

アプリケーションを使用する

ユーザーを登録する

- 1 カードリーダーでカードをタップしてください。
- 2 プリンタ操作パネルで、認証資格情報を入力します。
メモ: カード登録に Kerberos、Active Directory、または LDAP+GSSAPI を使用している場合、レルムを選択します。
- 3 ディスプレイに表示される手順に従います。

PIN を登録する

始める前に、ログイン方式が PIN 認証をサポートするように設定されていることを確認します。

- 1 プリンタコントロールパネルで、[PIN ログイン]をタッチします。
- 2 ディスプレイに表示される手順に従います。

プリンタに手動でログインする

- 1 プリンタの操作パネルから、次のいずれかにタッチします。
 - PIN ログイン
 - 手動ログイン
 - 管理者ログイン

メモ: [管理者ログイン]を選択すると、LDAP サーバーからの他のユーザー情報の取得は適用されません。

- 2 ログイン資格情報を入力します。
メモ: 手動ログインに Kerberos、Active Directory[®]、または LDAP+GSSAPI を使用する場合は、レルムを選択します。
- 3 ディスプレイに表示される手順に従います。

問題に対処する

アプリケーションエラー

次の手順を 1 つ以上実行します。

システムログを確認する

- 1 内蔵 Web サーバーで、[設定]または[構成設定]をクリックします。
- 2 プリンタ機種に応じて、次のいずれかを実行します。
 - [アプリ] > [アプリ管理]の順にクリックします。
 - [デバイスソリューション] > [ソリューション(eSF)]の順にクリックします。
 - [内蔵ソリューション]をクリックします。
- 3 [システム] > [ログ]の順にクリックします。
- 4 適切なフィルタを選択して送信します。
- 5 ログを分析し、問題を解決します。

Lexmark 担当者へのお問い合わせ

更新バージョンの SaaS プリントリリースでアプリケーションが実行されない

次の手順を 1 つ以上実行します。

プリントリリースが正しく設定されていることを確認する

Print Management SaaS アプリケーションをプリントリリース v2.0 以降にアップグレードした場合、必ず背景と待ち受け画面を無効にしてください。カード認証のアクセス制御をプリントリリースに割り当てて、プリントリリースが正しく設定されていることを確認します(詳細については、⇒『プリントリリース管理者ガイド』)。

Lexmark 担当者へのお問い合わせ

認証エラー

次の手順を 1 つ以上実行します。

プリンタの時間切れの値を大きくします。

ID サービスをカード検証方式として使用している場合、プリンタは ID サービスプロバイダとの通信に長い時間を要することがあります。

- 1 内蔵 Web サーバーで、[設定]または[構成設定]をクリックします。
- 2 [一般設定] > [時間切れ]をクリックします。

- 3 画面の時間切れとスリープモードの値を引き上げます。
- 4 [送信]をクリックします。

プリンタがネットワークに接続されていることを確認する

(⇒ 本機の『ユーザズガイド』)。

セキュリティサーバーがオンラインであり、ビジーではないことを確認する

詳細については、システム管理者に問い合わせてください。

ユーザーがロックアウトされている

このユーザーは、ログイン失敗可能な許容回数に達しました。

ロックアウト時間とログイン失敗可能な許容回数の値を引き上げる

- 1 プリンタ機種に応じて、内蔵 Web サーバーで以下のどちらかを実行します。
 - [設定] > [セキュリティ] > [その他のセキュリティ設定] > [ログイン制限]の順をクリックします。
 - [構成設定] > [セキュリティ]の順をクリックします。
- 2 ロックアウト時間、ログイン失敗可能な許容回数、自動ログアウト延期の値を引き上げます。
- 3 [送信]をクリックします。

クライアントプリンタを登録できない

次の手順を 1 つ以上実行します。

マスタープリンタまたはバックアッププリンタがオンラインになっていることを確認します

詳細については、「[アプリケーションの状態ページにアクセスする](#)」、16 ページを参照してください。

マスタープリンタとバックアッププリンタが正しく設定されていることを確認する

詳細については、「[プリンタベースのユーザー認証を設定する](#)」、9 ページを参照してください。

登録済みクライアントプリンタが 23 台を超えていないことを確認する

詳細については、「[ユーザーアカウントとクライアントプリンタを管理する](#)」、16 ページを参照してください。

Lexmark 担当者へのお問い合わせ

カードを検証できない

次の手順を 1 つ以上実行します。

ログイン方法をカードまたは手動ログインに設定します

- 1 内蔵 Web サーバーからアプリケーションの設定ページにアクセスします。
- 2 [ログイン画面]セクションで、ログイン方式を[カードまたは手動ログイン]に設定します。
- 3 [適用]をクリックします。

Lexmark 担当者へのお問い合わせ

レルム情報が見つからない

次の手順を 1 つ以上実行します。

ローカルアカウント、LDAP など、手動ログインまたはカード登録の一部のログイン方式では、レルムの選択が必要ありません。レルムの選択が必要なログイン方式は、Kerberos、Active Directory、LDAP+GSSAPI です。

レルムの選択を無効にする

- 1 内蔵 Web サーバーからアプリケーションの設定ページにアクセスします。
- 2 [詳細設定]セクションで[選択済みレルムの使用]の選択を解除します。
- 3 [適用]をクリックします。

ログイン方式を変更する

- 1 内蔵 Web サーバーからアプリケーションの設定ページにアクセスします。
- 2 [ユーザー認証]セクションで、カード登録のアクセス制御と手動ログインのアクセス制御を[アプリケーション 1]または[ソリューション 1]に設定します。
- 3 [適用]をクリックします。

Lexmark 担当者へのお問い合わせ

LDAP サーバーに接続できない

次の手順を 1 つ以上実行します。

LDAP の設定が適切であることを確認する

詳細については、[「LDAP 設定を構成する」](#)、14 ページを参照してください。

Lexmark 担当者へのお問い合わせ

よくある質問(FAQ)

バックアッププリンタがマスタープリンタとして動作しているときにクライアントプリンタの追加や削除ができないのはなぜですか？

クライアントプリンタの削除や追加ができるのは、マスタープリンタがオンラインのときだけです。

現在のマスタープリンタがオフラインである場合でも、クライアントプリンタを削除して新しいマスタープリンタに再割り当てすることができますか？

はい。以下の手順に従ってください。

- 1 クライアントプリンタの EWS から、アプリケーションをインストールします。
- 2 クライアントプリンタとしてのロールを設定し、それを新しいマスタープリンタとバックアッププリンタに設定します。詳細については、[「プリンタのロールを設定する」、10 ページ](#) を参照してください。

誤ってプリンタからアプリケーションをアンインストールしてしまった場合はどうすればよいですか？

- 1 EWS から、アプリケーションをインストールします。
- 2 プリンタのロールを設定します。詳細については、[「プリンタのロールを設定する」、10 ページ](#) を参照してください。
メモ: 必ずマスタープリンタ、バックアッププリンタ、クライアントプリンタの順に連続して設定するようにしてください。
- 3 ロールに応じて、プリンタを設定します。

メモ:

- アプリケーションがマスタープリンタに再インストールされる場合、バックアッププリンタに割り当てます。
- アプリケーションがバックアッププリンタに再インストールされる場合、マスタープリンタに割り当てます。
- アプリケーションがクライアントプリンタに再インストールされる場合、マスタープリンタとバックアッププリンタに割り当てます。
- 詳細については、[「プリンタロールを再び割り当てる」、17 ページ](#) を参照してください。

ログインしなかった場合、コピー機能や FAX 機能を有効にしても、ロック画面にこれらのボタンが表示されないのはなぜですか？

コピーまたは FAX 機能のアクセス制御を[セキュリティなし]に設定します。詳細については、[「ログイン画面を設定する」、8 ページ](#) を参照してください。

手動ログインのアクセス制御とセッションのアクセス制御に同じアクセス制御を使用すると、どうなりますか？

ホーム画面からプリンタ機能にアクセスするには、手動でのログイン時に資格情報を入力する必要があります。

手動ログインのアクセス制御とカード検証には、異なるアクセス制御を使用できますか？

はい。ID サービス認証を使用している場合を除いて、手動ログインのアクセス制御とカード検証を[ID サービス]に設定します。

管理者ログイン機能がネットワークアカウントで動作しないのはなぜですか。

管理者ログイン機能は、内部アカウント、PIN、パスワードのセキュリティテンプレートのみ適用されます。

通知

版通知

2020 年 12 月

この章に記載された内容は、これらの条項と地域法とに矛盾が生じる国では適用されないものとします。Lexmark International, Inc. は本ドキュメントを「現状有姿」で提供し、明示的または黙示的であるかを問わず、商品性および特定目的に対する適合性の黙示的保証を含み、これに限定されないその他すべての保証を否認します。一部の地域では特定の商取引での明示的または黙示的な保証に対する免責を許可していない場合があり、これらの地域ではお客様に対して本条項が適用されない場合があります。

本ドキュメントには、不正確な技術情報または誤植が含まれている場合があります。ここに記載された情報は定期的に変更され、今後のバージョンにはその変更が含まれます。記載された製品またはプログラムは、任意の時期に改良または変更が加えられる場合があります。

本ドキュメントで特定の製品、プログラム、またはサービスについて言及している場合でも、すべての国々でそれらが使用可能であることを黙示的に意味しているものではありません。特定の製品、プログラム、またはサービスについてのすべての記述は、それらの製品、プログラム、またはサービスのみを使用することを明示的または黙示的に示しているものではありません。既存の知的財産権を侵害しない、同等の機能を持つすべての製品、プログラム、またはサービスを代替して使用することができます。製造元が明示的に指定した以外の製品、プログラム、またはサービスと組み合わせた場合の動作の評価および検証は、ユーザーの責任において行ってください。

Lexmark テクニカルサポートについては、<http://support.lexmark.com> にアクセスしてください。

本製品の使用に関する Lexmark のプライバシーポリシーの詳細については、www.lexmark.com/privacy にアクセスしてください。

消耗品およびダウンロードについては、www.lexmark.com にアクセスしてください。

© 2014 Lexmark International, Inc.

All rights reserved.

米国政府のエンドユーザー

本ソフトウェアプログラムおよび関連文書は、48 C.F.R. 2.101 で定義されている「商品」であり、48 C.F.R. 12.212 または 48 C.F.R. 227.7202 に述べられている「商業用コンピュータソフトウェア」および「商業用コンピュータソフトウェア文書」に該当します。48 C.F.R. 12.212 または 48 C.F.R. 227.7202-1 から 227.7207-4 の規定に従い、米国政府のエンドユーザーは、本商用コンピュータソフトウェアおよび商用コンピュータソフトウェア文書を (a) 商品としてのみ、(b) 本書の条項によりすべての他のエンドユーザーに付与される権利と同一の権利のみとともに取得します。

商標

Lexmark および Lexmark ロゴは、米国およびその他の国における Lexmark International, Inc. の商標または登録商標です。

その他すべての商標は、それぞれの所有者の財産です。

索引

アルファベット

- [ID サービス]の設定
 - 設定 12
- ID サービスのユーザー認証
 - 設定 11
- ID サービスのユーザー認証を設定する 11
- ID サービスを設定する 12
- LDAP サーバーに接続できない 21
- LDAP の設定
 - 設定 14
- LDAP ユーザー認証
 - 設定 13
- LDAP ユーザー認証を設定する 13
- LDAP を設定する 14
- PIN の設定
 - 設定 13
- PIN ユーザー認証
 - 設定 13
- PIN ユーザー認証を設定する 13
- PIN ログイン 18
- PIN を設定する 13
- PIN を登録する 18
- Web サービスの設定
 - 設定 11
- Web サービスのユーザー認証
 - 設定 10
- Web サービスのユーザー認証を設定する 10
- Web サービスを設定する 11

あ行

- アクセス
 - 状態ページ 16
- アクセス制御
 - 設定 6
- アクセス制御を設定する 6
- 新しいマスタープリンタ
 - 設定 17
- 新しいマスタープリンタを設定する 17
- アプリケーションエラー 19
- アプリケーションの設定 14
 - 設定 14
- アプリケーションの設定ページ
 - アクセス 8

- 暗証番号
 - 登録 18
- 移行
 - クライアントプリンタ 17

か行

- 概要 4
- カードを検証できない 21
- 管理者認証
 - 設定 8
- 管理者認証を設定する 8
- クライアントプリンタ
 - 移行 17
 - 削除 16
 - セットアップ 10
 - 追加する 16
- クライアントプリンタを登録できない 20

さ行

- 削除
 - クライアントプリンタ 16
 - ユーザーアカウント 16
- 手動ログイン 18
- 状態ページ
 - アクセス 16
- セキュリティテンプレート
 - 作成 6
- セキュリティテンプレートを作成する 6
- 設定
 - ログイン画面 8
 - ログイン方式 8
- 設定ファイル
 - エクスポートまたはインポート 15
- 設定ファイルをインポートする 15
- 設定ファイルをエクスポートする 15
- 設定ページにアクセスする 8
- セットアップ
 - プリンタ 10

た行

- 追加する
 - クライアントプリンタ 16
 - ユーザー 18

- 登録メッセージ
 - 設定 14

な行

- 内蔵 Web サーバー
 - アクセス 5
- 内蔵 Web サーバーにアクセスする 5
- 内部ユーザーアカウント
 - グループ化 5
 - 追加する 5
- 内部ユーザーアカウントのグループを設定する 5
- 内部ユーザーアカウントを追加する 5
- 認証エラー 19

は行

- バックアッププリンタ
 - セットアップ 10
 - 割り当て 17
- バックアッププリンタを割り当てる 17
- プリンタ
 - セットアップ 10
- プリンタに手動でログインする 18
- プリンタベースのユーザー認証
 - 設定 9
- プリンタベースのユーザー認証を設定する 9
- プリンタロール
 - 再割り当て 17
- プリンタロールを再割り当てする 17

ま行

- マスタープリンタ
 - セットアップ 10
- 問題に対処する
 - LDAP サーバーに接続できない 21
 - アプリケーションエラー 19
 - カードを検証できない 21
 - クライアントプリンタを登録できない 20
 - 認証エラー 19

ユーザーがロックアウトされてい
る 20
レーム情報が見つからない 21

や行

ユーザー
追加する 18
登録 18
ユーザーアカウント
削除 16
ユーザーアカウントのレームを表
示する 15
ユーザーがロックアウトされてい
る 20
ユーザーを登録する 18
よくある質問(FAQ) 22

ら行

レーム情報が見つからない 21
レームを設定する
ログイン方式 15
ログイン
暗証番号 18
手動 18
ログイン画面
設定 8
ログイン後のビープ音を有効にす
る 14
ログインなしの FAX 機能を使用す
る 8
ログインなしのコピー機能を使用す
る 8
ログインプロファイル
使用 14
ログインプロファイルを使用す
る 14
ログイン方式
設定 8